東日本大震災5周年シンポジウムセッション内容

|  |
| --- |
| 2016年3月1日（火） |
| 10:15～12:00 | 13:15～15:00 | 15:15～17:00 |
| セッション1 | セッション2 | セッション3 |
| 減災アセスメント：津波総合減災を目指して | 「危機耐性」を考慮した耐震設計体系/試案と実装に向けた課題 | 福島第一原発事故由来の放射性汚染廃棄物対策の着実な推進に向けて～福島の早期の復興を目指して～ |
| 津波レベルの考え方．復興における海岸保全施設整備と課題．南海トラフ等今後の巨大地震津波も見据えた総合減災アセスメント．座長：岡安章夫（東京海洋大）話題提供者・パネリスト：1)今村文彦（東北大学）：津波特定テーマ委員会の報告（津波レベルの考え方について等）2)井上智夫（国土交通省）:防潮堤整備の事例紹介（成功例と問題点も含めて）3)中井 祐（東京大学）:復興において外部性がもたらす影響4)佐藤愼司（東京大学）:減災アセスメント小委員会の設立趣旨5)多々納裕一（京都大学防災研究所）:減災アセスメントの方向性 | 設計基準を超える極大事象を考慮する視点を持つ設計概念である「危機耐性」に基づく耐震設計体系試案」の考え方や実装に基づく要件について議論する．座長: 長尾 毅（神戸大，耐震基準小委員会委員長）話題提供者・パネリスト：1)本田利器　（東京大学）: 危機耐性のための耐震設計体系の考え方2)秋山良充（早稲田大学）:Risk-based・Resilience-based designへの移行の模索3)星隈順一（国立研究開発法人 土木研究所）：設計基準における安全側の配慮の見える化とレジリエンス設計4)矢部正明 （長大）：建設コンサルタントの立場から考える危機耐性5)武田篤史 （大林組技術研究所）: 建設会社の立場から考える危機耐性 | 座長：大西有三（関大特任教授／京都大名誉教授）（放射性汚染廃棄物対策土木技術特定テーマ委員長）話題提供者・パネリスト：1)福田俊彦（原子力損害賠償・廃炉等支援機構　執行役員）：福島第一原発廃止措置の取り組み状況と今後の計画推進2) 丸山久一（長岡技術科学大学名誉教授）（汚染水対策タスクフォース委員長）：汚染水TF・汚染水貯蔵用PCタンク検討小委員会等の土木学会取組み状況3)油井三和（日本原子力研究開発機構 福島環境安全センター長）：福島環境修復と除去土壌等の減容・再利用等の技術開発4)桜井勝延（南相馬市長）：住民帰還と地元復興への地元の取り組み状況、課題、要望事項5) 河西 基（アサノ大成基礎エンジニアリング理事・技師長/電力中央研究所名誉研究アドバイザー）（放射性汚染廃棄物対策土木技術特定テーマ委幹事長）:放射性汚染廃棄物対策に関わる土木学会の活動状況と今後の取組み方針 |

|  |
| --- |
| 3月2日(水) |
| 10:00～11:45 | 13:00～14:45 | 15:00～16:45 | 16:45～17:00 |
| セッション4 | セッション5 | セッション6 | クロージングセッション |
| 災害対応のソフト～人・組織・地域～ | 東北の津波被災地復興の経験から何を学ぶか？ | 福島第一原発事故被災地の復興をどう進めるか？ | この5年間を復興の加速と次への備えに活かすために |
| 話題提供3題を基軸に、東日本大震災と（補足的に）阪神淡路大震災等を振返り、各々の場面に対峙した人々・組織・地域の活動状況と課題、今後の在り方等を意見交換する座長：須藤英明（鹿島建設㈱）＋松本直也（東日本建設業保証㈱）話題提供者安全問題研究委員会1)白木 渡（香川大学）：震災後５年間のBCPの動向とレジリエンス2)磯打千雅子（香川大学）：連携の形としてのDCPと普及展開建設マネジメント委員会3)木下賢司（㈱熊谷組）：ケースメソッド手法による災害対応の人材育成パネリスト4)加納 実（鹿島建設㈱）5)坂井康人（阪神高速道路㈱） | 座長・基調講演者：岸井隆幸（日本大学）パネリスト：1)塩崎賢明（立命館大学）：造園の視点2)石川幹子（中央大学）：造園の視点3)家田 仁（東京大学・政策研究大学院大学）：インフラの視点4)池邊このみ（千葉大学）：文化の視点5)山路永司（東京大学）：農業復興の視点 | 座長：家田 仁（東京大学・政策研究大学院大学）パネリスト1)開沼 博（福島大学）2)小山良太（福島大学）：農業の視点3)山崎 亮（東北芸術工科大学）4)臼井純子（富士通総研）5)北村秀哉（東京電力）6)羽藤英二（東京大学） | 復興の加速と次への備えに活かすために，本シンポジウムでの議論を総括する。座長：佐藤愼司（東京大学）登壇者：廣瀬典昭（土木学会長）＋他，調整中 |

※2016年2月12日現在：登壇者・内容は変更になる場合があります。